

# あおぞら



## ◎特集1

老後の生活考えてみませんか？

～住宅編～

## ◎特集2

田園調布祭り

# 老後の生活考えてみませんか？

## ◎まず現在の状況をチェックしてみよう

いざという時にあわてないために自身の状況や家族が考えておかなければならないことについて事前に整理しておきましょう。

- ◇ 一日に誰とも会話をしない日がある
- ◇ お風呂に入らない日が多い
- ◇ 日々の暮らしに不安を覚える
- ◇ 近隣の方から気遣われることが増えてきた
- ◇ 物の片付け、食事の準備等に支障が出てきた
- ◇ 要介護認定を受け、訪問介護等の居宅サービスを利用している
- ◇ 認知症状が出てきた

チェックしてみて、今の環境で生活していくのは難しい状況かもしれないと感じた場合は、生活を支援してもらうサービスを受けながら自宅で暮らす、あるいは、ホームへの入居を決断する時期かもしれません。



## ◎自分の希望を整理しよう

家族へ自身の希望を伝え、家族は本人の希望を聞いておきましょう。事前に家族と話し合っておくことは、お互いの心の準備のためにも大切なことです。

- ◇ 自分でホームを選び、元気なうちに入居したい。
- ◇ 自分でホームを選び、介護が必要になったら入居したい。それまでは生活の支援や介護サービス等を受けながら自宅で生活したい。
- ◇ 自身の健康状態等によって、家族の選択にまかせたい。

住み慣れた環境が変わるということは、本人の大きなストレスにもなりかねません。地域の特性（気候・ことば・味・風習等）も重要な検討要素です。ホーム等への入居を考えている場合、どのような場所を希望するか確認しておきましょう。



## ◎高齢者住宅の種類は？

老人ホーム・介護施設には、主に民間事業者が運営する「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」、社会福祉法人や民間事業者などが運営する「地域密着型施設」や「軽費老人ホーム」、医療法人・社会福祉法人などが運営する「介護保険施設」があります。



<b>サービス付き高齢者住宅</b>	有料老人ホーム	
	健康型有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム
	住居型有料老人ホーム	

今回は、その中の「介護付有料老人ホーム」と「サービス付き高齢者住宅」についてご紹介します。

◎有料老人ホームとは？

有料老人ホームには、「介護付き」「住居型」「健康型」の三種類があります。

【共通点】

- ・食事 ……施設内で三食提供される。
- ・協力医療機関…定期的に協力医療機関の医師が往診に来てくれる。
- ・費用 ……金額は施設によってさまざま。

【「介護付き」と「住居型」の違い】

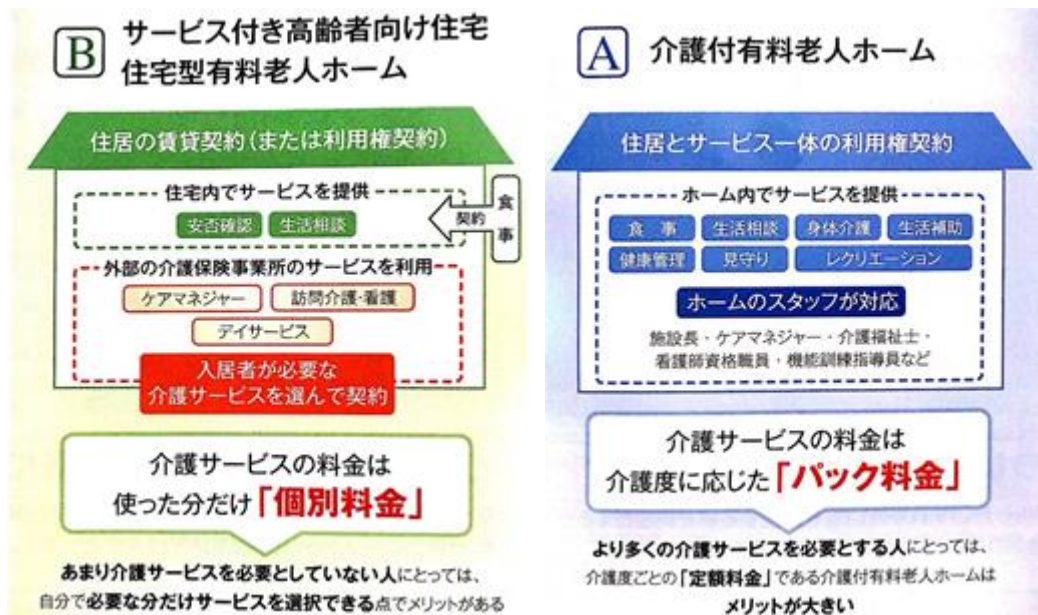
	介護付	住居型
介護サービス	365日24時間ホームの中に常駐しており、必要に応じて介護サービスを受けることができる。	ホーム内で介護サービスを受けることができる介護付きとは異なり、住居型の場合は「食事サービス」と「日常的な生活支援サービス」を行うにとどまる。介護サービスが必要な場合は、外部のヘルパーを利用してサービスを受けることになる。
看護職員	ホーム内に看護職員が常駐し、薬の管理や医療行為を行う。	介護付きのように看護職員の配置基準は決められていない。看護職員が常駐していないホームや日中帯のみ、24時間常駐などさまざま。
リハビリ	ホーム内でリハビリを行う。「機能維持の為に生活リハビリ」が中心。	訪問リハビリや、通所リハビリのサービスを利用する。

◎サービス付き高齢者住宅

日常生活や介護に不安を抱く高齢の単身者や夫婦のみの世帯のために、バリアフリー構造等ハード面の一定基準を満たし、さらに介護・医療と連携したサービス面も提供する施設として、2011年の法改正によって誕生した高齢者向けの住宅です。

サービス付き高齢者住宅	
介護サービス	ケアの専門家が少なくとも日中建物に常駐して最低限の安否確認と生活相談サービスを提供。
看護職員	基本的には常駐していない。
リハビリ	一般的には通所リハビリや訪問リハビリを利用する。
食事	施設によって食事サービスの形態はさまざま。
協力医療機関	協力医療機関と「連携」している所が多い。

◎「介護付き有料老人ホーム」と「サービス付き高齢者住宅」の違いは？



今回は、この2つについてご紹介しましたが、人それぞれによって選択肢はたくさんあるので、少しでも興味を持った方は、自治体や医療相談員までお気軽にご相談下さい。

# 田園調布祭り



六月四・五日は、あさひのフェスティバルという田園調布商店街のお祭りがありました。今年は、地元浅間神社の三年に一度の宮神輿渡御も執り行われ、威勢の良い声が街に響き渡りました。

田園調布中央病院としても十五年前頃から毎年参加させて頂いています。

当院は、健康相談コーナーと焼きそばのを出店をさせて頂きました。また、地域の方々と共に神輿にも参加しました。今回は、そのお祭りの様子をお伝えします。お祭りに参加した職員にお話を聞いてみました。



## ☆看護師による健康相談コーナー

今回、初めて健康相談コーナーで参加しました。毎年行っている血圧、骨密度測定を楽しみにしている方が多く、地域の方々の生の声が聞けて良かったです。病院名を聞かれ、「田園調布中央病院です。」と答えると、「皆さん親切で優しいですね。」と言って下さる方が多く、嬉しく思いました。これからもより身近に感じて頂けるようにしていきたいです。

来年もより多くの方に来て頂けるようにアピールしていきます！（小池看護部長）



## ☆お神輿担ぎました！

今まであまり体験したことがなかったので、とても楽しかったです。また、地域の方とたくさん関わることができ、地域密着の重要性を改めて感じることができました。（薬剤師 牛方さん）



お神輿は大きいし重いし担ぎっぱなしで大変だったけど、楽しかったです。地域の方々と同じハッピを着て、掛け声を合わせて、より身近に感じる感じました。（医事課 落合さん）

## ☆焼きそば作りました！

毎年恒例の焼きそばも販売しました。たくさんの方に来て頂き、行列が出来るほどの大盛況でした！病院スタッフみんなで協力し合って楽しかったです。（放射線技師 野村さん）



## お祭りを終えて・・・

お祭りを通して地域の方とふれあい、交流を深める良い機会になりました。皆さん、仕事以上に力を入れて楽しんでいただよう思います。これからも地域に密着した、皆様から愛される田園調布中央病院を目指していきます！これからも宜しくお願い致します。

発行 医療社団法人七仁会 田園調布中央病院  
編集 田園調布中央病院広報委員会

看護部 中嶋・薬剤科 石澤